

# 保育園自己評価表

2018 年度

園名 まあむベイビーズ中央林間

保育目標の達成	職員間の連携	地域とのコミュニケーション
<p><b>【目標】</b></p> <p>○混合保育の利点を活かし、異年齢児の子どもが関わりを持つ中から「思いやり」の心を育てる</p> <p>○健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境を整え、一人ひとりの発達過程に応じ、乳幼児期に相応しい体験が得られるように、生活や遊びを通して総合的に保育する</p> <p>○連絡を密にして保護者との信頼関係を築きながら保護者を理解し適切に援助する</p> <p><b>【達成度】</b></p> <p>・新規園で全員が新入園児でのスタートだったので入園当初は同じ活動をするが多かった。また、ワンフロアという環境上一緒に過ごすことがほとんどで学年の垣根がなく十分な関わりを持つことが出来、2歳児の遊びを1歳児が真似をする場面や2歳児が下の子の面倒を見る姿も見られた。全体の活動では1歳児の動きに2歳児を合わせてしまう事が多かったので、後半は部屋を仕切るなどしてそれぞれの発達に合わせた活動ができるようにした。</p>	<p>全員が新入の職員だったので共通の認識で保育ができるように打ち合わせや報告をこまめに行った。また、常に声を掛け合い円滑に保育が進められるように心掛けた。</p> <p>連絡事項表を作り子どもの健康状態など家庭から得た情報や園での特記すべき情報を記入し子どもの様子について保育者間で共有できるようにした。</p>	<p>開所1年目だったので地域に向けての活動はできなかったが、オーナーのご厚意で敷地内のデコポンを収穫させてもらったり園内で行う行事（夕涼み会・クリスマス会）に来ていただいた。</p> <p>戸外活動で兄弟がいる保育園と一緒にすることが多く、お互いに声を掛け合ったりと触れ合う機会を持つことができた。</p>

--	--	--